学校番号	318

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育実践	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「保育実践」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの心身の発達や特性、子どもの生活についての学習をもとに、子どもと接するために身につけておきたい技術について、実習を中心に行います。何よりも大切なことは、子どもの目線に立って考える習慣をつけることです。また子どもと接する機会を設け、楽しんで子どもと接するようにしましょう。

2　学習の到達目標

子どもと遊び、子どもの表現活動、保育などに関する知識と技術を習得させ、こどもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子供の心身の発達を理解し、発達段階や個々に応じた働きかけができるようにし、その技術や方法を実習を通して身につける。	作品の制作や実習においては、特にグループ学習などでは、自分が何をするべきかを判断する力を身につける。特に子どもと接する実習においては子どもの様子を観察し、子どもの立場に立って行動する力を養う。	自分の特性やグループの特性を考え、積極的かつ楽しんで実習に取り組む力を段階的に育てていく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		折り紙の練習 折り紙で物語性のある作品をつくる	a：折り紙や工作についての技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。 b：工作の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c：折り紙での工作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらにそのことを子供に伝えることについて考察することができる。	作品 ワークシート	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート
		手芸に取り組む1 名札を作る	a：手芸の技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。 b：手芸の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c：手芸を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらにそのことを子供に伝えることについて考察することができる。	作品 ワークシート	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート

2		絵本の読み聞かせについて学習し、読み聞かせワークを行う	a：絵本の読み聞かせについての技術を習得するとともに、絵本についての知識を身につける。 b： 実際に子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c：絵本の読み聞かせ通して、自分の絵本に対する思いや子供に伝えたいことを明確化し、絵本の読み聞かせの意義について考察することができる。	ワークシート	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート
		手芸に取り組む2 手袋シアターを作る	a： 手芸についての技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。 b：作品の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c： 手袋シアターの制作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらにそのことを子供に伝えることについて考察することができる。	作品	振り返りシート 相互評価	授業観察 振り返りシート

3		身近な素材を利用した工作 クラフトテープを使ったかごつくり (ユーチューブを利用して)	a: 様々な IT を利用しながら自分の制作したいものに落とし込み、適切に利用しながら合理的に制作することができる。 b: YouTube を利用しながら工作の仕方を理解し、自分のペースで時間内に作り上げることができる。 c: IT の便利さをを理解し、頼りすぎることなく自分の制作に生かし、子どもに投影することを考えながら制作できる。	作品 授業観察	振り返りシート	授業観察 振り返りシート
		年中行事とのかかわり お雛様飾りの作成(工作)	a: 工作についての技術を習得するとともに、それを作品として表現する方法を作品を通して身につける。また年中行事についての理解を深める。 b: 工作の特性を理解するとともに子どもと接するときに、どのように指示し、年齢や個々の特性に応じて方法を工夫するかを考える。 c: 折り紙での工作を通して、自分の考えたことを形にする方法、うまくいかないときの乗り超え方、失敗したときの対処法、継続して取り組むことを体感し、さらに年中行事について子供に伝えることの意義について考察することができる。	作品	振り返りシート	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度